

年間第23主日

兄弟の忠告

マタイ福音書 18章 15-20

（そのとき、イエスは弟子たちに言われた。）「兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人か徴税人と同様に見なしなさい。

はっきり言うておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天上でもつなわれ、あなたがたが地上で解くことは、天上でも解かれる。また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心をつなにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にあるのである。」

説教

きょうのテキストには二つの話があります。ひとつは仲間内（信仰共同体・教会）での罪人の取り扱いとその罪に対する罰の実例。つまり仲間のうちで自分に対して悪いことした者がいたら、まずは一対一で話し、それでもダメならその次は二人か三人で、その次はいよいよみんなの前で、それでもだめなら追放しなさい。

二つめは二、三人がイエスの名によって集まるところにはわたしはその中にあるというイエスの約束です。このイエスの約束はせかんどチャーチの根拠というか励ましになるので、わたしたちにとって大事な聖句です。わたしたちの教会は二、三人場合によっては一人でもできるということを教会活動の

目的のひとつにしています。

話をもどして、マタイ 18 章のこのふたつの話しを関連付けて、表面的に理解するとそら恐ろしい内容になります。一人の人に対してよってたかって責め立てて、その人が回心しなければ追放しなさい、二、三人でもイエスの名によって集まっているなら、それは主のみこころを現しているのです、その裁定には問題はないとも解釈できるからです。

きょうの箇所はマタイ福音書特有の教会主義だとか、キリスト教の排他的で、独善的な一面だ、などと批判もあるところです。

わたしたちは辛抱強く間違いを犯した人を説得して、小さい者、迷い出た羊にも充分配慮しましょう、ということでしょうが、現実の教会、実際はそんな配慮は残念ながらあまり耳にしません。なんだかんだ理由はつけますが、ありていにいえば羊 1 匹よりも羊 99 匹を配慮する、一人の人よりも多くの人、個人よりも組織を優先する、これが現実です。

どんなにうまくいっている共同体、理想的な信仰共同体、イエスが共にいてくださる聖霊に満たされた教会でも、はみ出てしまう人はいます。これは多くの人にとって経験したことがある現実でしょう。信仰は事実を見つめることであって、信仰によって現実をねじまげることを理想、信仰目的とするわけではありません。

あなたがたはどう思うか。ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか。はっきり言っておくが、もし、それを見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう。そのように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。マタイ 18:12-14

マタイ福音書ではこの「迷い出た羊」のたとえに続いてきょうのテキスト (18:15-20) となります。この迷い出た一匹の羊のはなしはルカ福音書の 15 章に平行箇所があります。ルカの 15 章は放蕩息子のたとえで有名なところで、

羊、なくした金貨、放蕩息子の3つのたとえ話を3点セットなどとあだ名もついて多くの人に愛されている聖書箇所のひとつです。

マタイ福音書では13章にたとえの話がまとめて記述されていますが、なぜかこの迷子の羊の話はこの18章、きょうのテキスト本分の直前に語られます。

「小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない」このみ言葉の響き、ここに福音記者マタイの意図を聞き分けることが、「兄弟の忠告」を聞く上でわたしたちにとって大事なことです。「天の父の御心」この聞き分けを怠ると、教会の独善、排他、教会至上主義などに陥ってしまいます。

また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。18:19

これは二人が一つの共通な目的をたてて力を合わせて物事をやり遂げることではないでしょう。二人が神さまを通じて深いところで心が結び合う、通じ合うという点に重心があるのだとおもいます。そうでないと、いろいろな類（たぐい）で集まる。気に入った人だけで集まる。ちょっと趣味が合ったものだけで集まる、利益を得るのに都合のいい人で集まる、それでもって心を合わせて一生懸命やろうということになってしまいます。

二人または三人がわたしの名によって集まる場所には、わたしもその中にいるのである。18:20

このイエスの約束の福音を聖霊をとおして、み言葉が現しているほんとうの意図をわたしたち一人ひとりが、受け取ることができますように。アーメン
